

3-60-0

(包紙)

「大谷九右衛門さま

人々

たき

正月 ■■ 日

より

」

3-60-1

尚々めてたくかしく

又そのうちこなたへも

御出被下候、かしく

昨日者御出被成候へ共

御あいそもなき

御事と御残多そんし参らせ候

夕へ将けんとのへ

あい参らせ候て、そもしさまより

御あいさつも申参らせ候

将けんとの申され候には

何こくすほうの守との

とくとかつてんにて

御坐候、ことのほかく

御しゆひやいもよろしく

御坐候やう相きこへ

参らせ候、わたくしたき

いかほかく／＼悦入参らせ候

おかげさまからしひれ次第

将けんとのより申され候はつ

御坐候、さやう御書

被下候

明日は将けんとのへ

御成候やうとそんし候

めてたくかしく

九右衛門さま

たき